

3.18.3 国際推進部門 標準化推進室

室長（兼務） 深堀道子 ほか5名

国際標準化による研究成果の社会還元への推進

【概要】

NICT の研究成果が実社会において広く活用されるよう、研究成果の社会還元の一環として、国際標準化活動の強化、推進を行い、我が国の国際競争力の強化に貢献している。具体的には、国際標準への反映を念頭においた研究開発を推進し、その成果を国際電気通信連合 (ITU) 等の国際標準化機関や各種フォーラムへ寄与文書として積極的に提案することを支援している。また、NICT は専門的な知見を有する中立的な立場であることから、国内における各種の標準化関係委員会への委員の派遣等を積極的に行うとともに、国際標準化で活躍することを目指した人材の育成を行っている。さらに、標準化に関するフォーラム活動、国際会議等の我が国での開催を積極的に支援している。

【平成 27 年度の成果】

(1) 国際標準化会議等への参加、標準への反映

- ① 研究成果を国際標準に反映していくため、各種国際標準化機関等における会議等に積極的に参加するとともに、平成 27 年度においては研究開発成果等に基づき延べ 287 件の寄与文書を提出した。また、標準化に係る各種委員会、国際標準化機関等の会議等において、平成 27 年度は延べ 47 人が議長やエディター等の役割を務め、研究開発成果の国際標準化に貢献した。
- ② このような活動の結果、平成 27 年度においては、光ネットワーク、ワイヤレスネットワーク、電磁環境、ユニバーサルコミュニケーション等の分野において、NICT の研究成果を反映した国際標準が成立した (図 1)。
- ③ また、平成 24 年に策定した標準化ポリシーを踏まえて、防災や医療などニーズオリエンテッドな標準化に関する取組を強化した。具体的には、ITU-T Study Group 16、Focus group on Aviation Application and Cloud Computing for Flight Data Monitoring、Asia-Pacific Telecommunity (APT) 等の国際標準化会合に参加し、NICT の研究成果の国際標準化に寄与するとともに、関連の標準化動向の調査等を行った。
- ④ NICT の職員の国際標準化活動に関して、平成 27 年度においては、将来網や光ファイバ無線技術に関する ITU 勧告化への貢献等に対して日本 ITU 協会賞 (功績賞、国際活動奨励賞) がそれぞれ授与された。

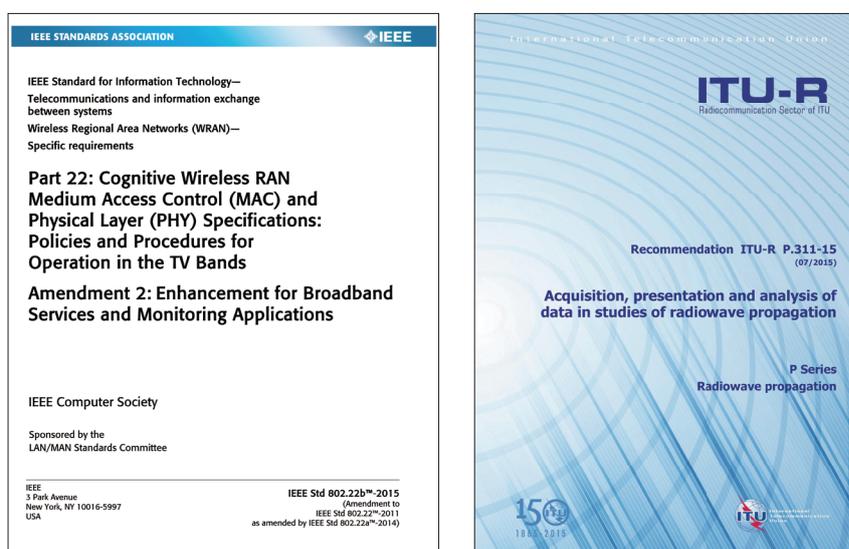


図 1 平成 27 年度に成立した国際標準の例
IEEE802.22b-2015 TV ホワイトスペースを用いる広域無線システム (左)
ITU-R P.311-15 電波伝搬に関する解析手法 (右)

(2) 標準を活用した技術等の成果発信

- ① 平成27年9月、バンコクにおいて、APT ASTAP 総会、Conformance and Interoperability Event 2015 が開催され、NICT から展示及び講演を行い、研究成果のアジア太平洋地域への発信を行った。
- ② 平成27年11月、ハンガリー・ブダペストにおいて、ITU 世界テレコム 2015 に参加し、NICT からはデジタルアース、データ指向ネットワーク技術の研究成果についての展示を行うと共に NICT の研究・活動についての講演を行った(図2)。

(3) 標準化活動に関する人材育成

- ① 標準化活動に関する人材育成の一環として、NICT 内の研究者に対して国際標準化に関する最新事情の周知・啓発を目的とする標準化勉強会を実施し、標準化に実際に携わっている外部専門家による講演等を行った。
- ② NICT 職員に、国際会議に参加するための専門セミナー(日本 ITU 協会等が主催)への参加を呼びかけ、1名が参加した。

(4) 標準化に関するフォーラム活動への支援、標準化関連国際会議等の我が国における開催支援等

- ① 平成27年5月に東京で開催された oneM2M ショーケースを関係企業・組織と共催し、ワークショップにおける講演や展示を通じて、NICT の研究成果をアピールした。
- ② 平成27年9月には、第4回量子暗号・量子通信国際会議(UQCC2015)及び第5回量子暗号国際会議(QCrypt2015)の東京での開催を支援した。
- ③ 平成27年11月には、第13回 ITU 世界電気通信/ICT 指標シンポジウム(WTIS-15)の広島での開催を支援するとともに、あわせて NICT の研究成果に関する展示を実施し、研究成果の周知を行った(図3)。
- ④ 平成28年3月には、東京で開催された ITU-T IPTV-GSI の関連イベント 2nd Symposium on Media Accessibility において、展示と講演を行い NICT の研究成果をアピールした。
- ⑤ 「新世代ネットワーク推進フォーラム」の IP ネットワークワーキンググループ事務局を務め、スマートグリッドを実現するためのホームネットワークに関する標準化活動等を支援した。また、新世代ネットワークの標準化を推進する標準化推進部会の開催支援を行った。



図2 ITU 世界テレコム 2015 の展示



図3 ITU WTIS-15 会合の展示

(5) 標準化機関との連携強化

- ① 平成27年4月、IEEE の Howard Michel 会長等が NICT 本部に訪し、NICT 幹部との間で意見交換を行った。
- ② 一般社団法人電波産業会 (ARIB) との間で平成24年度に締結した連携・協力の推進に関する協定に基づき、平成27年8月、第3回の連絡会を NICT において開催し、無線通信関係の標準化活動に関する意見交換を行った。